

ボブ・クレイン～快樂を知ったTVスター～

2003(平成15)年11月24日鑑賞(ユウラク座)



監督=ポール・シュレイダー/出演=グレッグ・キニア/ウィレム・デフォー (ソニー・ピクチャーズエンタテインメント配給/2002年アメリカ映画/105分)

……「僕はなぜか人に好かれるキャラクターなんだ……」と信じている主人公ボブ・クレインは1960年代のテレビの人気番組『HOGAN'S HEROES』に登場して大人気。すると人はそこに寄ってくるもの。ちょっとヘンなオーディオ・オタクの友人と2人でお忍びの「女漁り」……。サブタイトルがピッタリのショービジネス界のウラ生活が描かれるが、最後はかわいそうな結末が……。

やり放題の人気スター

「僕はなぜか人に好かれるキャラクターなんだ……」と信じているTVスターのボブ・クレインは、1960年代の人気番組『HOGAN'S HEROES』が大ヒット。すると周りに人は集まってくるもの。ちょっとヘンな感じのオッサンでオーディオ・オタクの友人と2人で組んで、「女漁り」の毎日だ。女はひと言声をかければついてくるもの。そしてセックスはやり放題。こんな感覚で日々の女漁りとセックスの様子を当時最新の家庭用ビデオに撮って、秘密の上映会……。「快樂を知ったTVスター」の自堕落な生活はとどまるところを知らなかった……。

家庭生活は……？

若い時に結婚した同級生の妻は、自分に目を向けてくれない夫との家庭生活に不満だらけ。その鬱積した不満は今や爆発寸前。ところがボブのマスコミ発表における家庭生活の様子は、超優等生。「家庭生活円満の秘訣は？」「夫婦が仲良くするコツは……」と、アッケラカンに喋る厚かましさにはアングリ……。やはり

TVスターは、「演ずる」のが商売か……？

最後は悲惨な結末が……

TVの人気番組も永久に続くわけではなく、いつかは「打ち切り」となるもの。そしてそれに伴って、TVスターの人気も少しずつ凋落気味に……。ボブ・クレインもこの例にもれず、最近はお番が少なくなり、ちょっと落ち目。あちこちに顔を売ろうとしても、なかなか昔のようにはいかない。そんな中、ついに悲惨な結末が……。「おごれる平家は久しからず」とはよく言ったもの。人気者の、「快楽を知ったTVスター」も心しなければ……。しかしこれだけ好きに遊んだらもういいか……？

2003(平成15)年12月3日記

第3章

スクリーンの彼方に世界が見える

ミニコラム

おめでとう！ 杉田かおる殿

1月20日に第2期目の大統領就任式を迎えたテキサス州出身のブッシュ大統領は、物事を白・黒ははっきり割り切るタイプ。彼が小泉総理と「仲良し」なのは、日本人には珍しく小泉さんも物事を割り切る性分だから……？

勝ち組・負け組という言葉は昔からあるが、今の日本ではあらゆる領域でこの「二分法」が定着してきた。この二分法によれば、女も勝ち犬と負け犬に分類するのが昨今の大方。負け犬の「要件」は、①30歳を超えてしまった、②いまだに独身、③子供がいない、の3つ。

そんな中、1月12日ビッグニュースが流れた。それまで負け犬の代表と目されていた女優・杉田かおるが40歳にして突然結婚を発表したことだ。しか

もそのお相手の鮎川純太氏は、ベンチャー企業向け投資会社の社長というだけでなく、一代で日産コンツェルンを築き上げた鮎川義介氏の孫という超サラブレッドだったから驚き。これには同じ負け犬仲間だった光浦靖子や久本雅美らも口をアングリ！ 映画界を含む芸能界は競争の世界で、浮き沈みが激しいのは当然。

『ボブ・クレイン』は墮ちてしまったTVスターを主人公にした映画だが、そんな芸能人は吐いて捨てるほどいる。そんな「負け犬」を主人公とせず、今こそ杉田かおるを主人公に起用して、玉の輿サクセスストーリーの映画をつくれれば大ヒットまちがいなしと思うのだが……？